



# The TKF TIMES

高崎市立高崎経済大学附属高等学校新聞部

5月1日(金)発行

5月号①

## 5月9日 5年ぶりに復活！ 高経附吹奏楽部定期演奏会

平成二十七年五月九日(土)に高経附吹奏楽部が高崎市音楽ホールにて定期演奏会を行う。これは5年ぶりの開催とのことで、校内外を問わず大きな話題を呼んでいるようだ。そこで今回は吹奏楽部部長である大熊美稀さん(3年)にインタビューを行い、定期演奏会への意気込みや、その見所などを伺った。吹奏楽部員の定期演奏会への想いに迫る。

遡ること5年前、それまでの高経附吹奏楽部は恒例行事として毎年七月に定期演奏会を開催していた。しかし当時の吹奏楽部は、音楽を演奏する者としての基本である誠実な練習態度や礼儀を含めた生活態度が不十分だったことから、良い演奏ができず、成績を残せなかった。その年新たに顧問を受け持った青木先生と当時の部員は「今の部活の状態を変えたい」と強く思

い、それらの改善に向けた長い話し合いが始まった。その結果、「コンクール一本に目標を絞る」という新しい方針を掲げたのである。そして、「だらしない不誠実な姿勢からは良い音楽は決して生まれない」という合言葉のもと、先生と部員が一丸となり、コンクールに向けて全力を注いだ。こうしてその年を境に「定期演奏会は本当の実力が伴った時に再開する」という暗

黙の了解のもと、長期間の休止となったのだった。休止から5年たった現在、吹奏楽部は新顧問の橋詰先生のもと体制がさらに強化され、着実に力をつけている。そして今年度、生徒から復活を望む声が上がりが、ついに定演を再開する運びとなった。その背景にはいったい何があるのだろうか。また長年休止してきたこの演奏会への部員たちの意気込みや想いはどのようなものだろうか。

そこで吹奏楽部の大熊美稀部長(3年)に取材を行った。部長の話によると「今回の定演の復活は、昨年の私たちの希望によるものが大きい。4年連続で金賞を獲得でき、実力もついてきたので、コンクール以外のことにも挑戦してみたい」とのことだ。また意気込みを聞くと「チラシやチケットも準備ができて、形になってきたという実感が出てきました。

**第10回高崎市立高崎経済大学附属高等学校吹奏楽部定期演奏会**

《第I部》ClassicSTAGE  
★アルヴァーニ序曲  
★プリオシニコストの幻想

《第II部》DisneySTAGE  
★エレクトリカル・レコード  
★アナと雪の女王

《第III部》PopSTAGE  
★Sing Sing Sing  
★行くぜっ！怪盗少女 etc...

2015.05.09 (Sat.)  
Open 17:30 / Start 18:00  
群馬音楽センター

Ticket 大人 500円  
高校生以下 300円  
(未就学児 無料) \*5年ぶりに復活します\*

お問い合わせ先 027-344-1230 (顧問 橋詰)  
Takasaki Municipal High School Of Takasaki City University Of Economics Brass Band

てきたので、コンクール以外のことにも挑戦してみたい」とのことだ。また意気込みを聞くと「チラシやチケットも準備ができて、形になってきたという実感が出てきました。

不安なことはたくさんあるけれど、今はとにかく来てくださるお客様に感謝を込めて精一杯演奏することを考えたいです」とこやかに語ってくれた。そして最後に定期演奏会の見所について聞くと「第一部は演奏がメインなのでもちろん聴いてもらいたいですが、定期演奏会はコンクールとは違って楽しいこともできるので、第三部の会場全体で盛り上がるポップスやダンスにも注目してもらいたいです」と話してくれた。

休止から5年、という長い時を経て再開することになった定期演奏会だが、部員たちの演奏会への想いはかなり熱いものようである。部員たちの勇姿に少しでも興味がある方は是非、音楽センターを訪れてほしい。チケットは現在吹奏楽部員が販売中で、購入したい旨を伝えれば販売してくれる。価格は高校生以下が三〇〇円、大人が五〇〇円



伴奏者と息を合わせ真剣に演奏する姿

(千葉)



一週間後の定演に向け練習に励む吹奏楽部

四月二十七日(月)に芸術系音楽コースの2・3年生による校内演奏会が行われた。今回は芸術系音楽コースに所属する新井千晶さん(3年)と小林伊織君(3年)にインタビューを行い、この行事に対する想いや演奏後の感想などを伺った。全国でも高い実力を誇る音楽コースの演奏会の模様と、それに対する音楽コース2・3年生の姿勢に迫る。

四月二十七日(月)に芸術系音楽コースの生徒による校内演奏会が行われた。この演奏会は、芸術系音楽コースに所属する2・3年生が、芸術系に新しく入学してきた1年生を歓迎するために開催する、伝統ある行事である。3年生の新井千晶さんにこの行事に対する思いを伺うと「この演奏会は例年行っている恒例行事であり、私たちは今までたくさん先輩方の背中を見てきました。そんな私たち2・3年生が演奏する姿を、是非新1年生にも見てもらいたいです」と話してくれた。

(本多)

## 1年生に魅せた実力 音楽コース校内演奏会

ねると「演奏中は観客を見ないようになっているため観客の表情が分からなかったですが、喜んでもらえたら嬉しいです。1年生には客席とステージが近いとき、緊張せずにどれだけ自分の力を出し切れるかを考え、練習してほしいです。また、舞台にもっていくまでの練習を見る機会が増えるので、そのことも学んでもらいたいと思います」と力強く語った。同じく演奏を披露したピアノを専攻している小林伊織君(3年)に演奏会の感想と1年生の反応を伺ったところ「今回の演奏で観客の目を覚めさせるくらいの演奏をしたという目標ができました。1年生の反応はあまり良くなかったのですが、次回の演奏ではいい表情にさせたいです」と思いを語った。さらに、1年生に頑張ってもらいたいことと今後の目標を尋ねると「早く自分を超えてほしいです。今後の目標は、校外演奏会で観客の心に響く演奏をすることです」と笑顔で答えてくれた。

(本多)